



2022年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2021年7月30日

上場会社名 アステラス製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4503 URL https://www.astellas.com/jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 安川 健司
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・アドボカシー (氏名) 藤井 郁乃 (TEL) 03(3244)3201
 & リレーション部長
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	326,143	6.2	36,090	△40.7	35,830	△40.5	30,687	△39.1	30,687	△39.1	36,206	△34.7
2021年3月期第1四半期	306,969	△8.1	60,815	△21.1	60,238	△21.3	50,413	△13.9	50,413	△13.9	55,426	104.9
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2022年3月期第1四半期	16.56		16.55									
2021年3月期第1四半期	27.14		27.12									

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	2,249,456	1,382,869	1,382,869	61.5
2021年3月期	2,273,628	1,386,115	1,386,115	61.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	21.00	—	21.00	42.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,323,000	5.9	227,000	66.8	225,000	54.8	183,000	51.8	183,000	51.8	98.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

コアベースでの連結業績予想は次のとおりです。

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,323,000	5.9	270,000	7.4	213,000	1.5	114.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。コアベースの業績の定義につきましては、添付資料に記載しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期第1四半期	1,861,787,075株	2021年3月期	1,861,787,075株
② 期末自己株式数	2022年3月期第1四半期	8,935,909株	2021年3月期	8,757,705株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期第1四半期	1,852,848,995株	2021年3月期第1四半期	1,857,487,432株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想及び添付資料に含まれる将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料をご覧ください。

(四半期決算説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算短信の開示とあわせて四半期決算補足資料及び四半期決算説明会資料を開示しています。

また、2021年7月30日(金)に証券アナリスト・機関投資家・報道機関向けにカンファレンス・コールを開催する予定です。このカンファレンス・コールの音声については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	9
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	10
(1) 要約四半期連結純損益計算書	10
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	11
(3) 要約四半期連結財政状態計算書	12
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	14
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	16
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	17
(継続企業の前提に関する注記)	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<連結業績（コアベース^(注)）>

当第1四半期（2021年4月1日から6月30日）の連結業績（コアベース）は下表のとおりです。売上収益は増加した一方、コア営業利益及びコア四半期利益は減少しました。

[連結業績（コアベース）]

（単位：百万円）

	前第1四半期 (2021年3月期)	当第1四半期 (2022年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	306,969	326,143	+19,175 (+6.2%)
売上原価	59,654	62,231	+2,578 (+4.3%)
販売費及び 一般管理費	120,776	137,109	+16,333 (+13.5%)
研究開発費	57,288	58,313	+1,025 (+1.8%)
無形資産償却費	5,855	5,963	+107 (+1.8%)
持分法による投資損益	△26	292	+318 (-)
コア営業利益	63,370	62,820	△551 (△0.9%)
コア四半期利益	51,990	49,241	△2,749 (△5.3%)
基本的1株当たり コア四半期利益（円）	27.99	26.58	△1.41 (△5.0%)

(注) 当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。当該コアベースの業績は、フルベースの業績から当社が定める非経常的な項目を調整項目として除外したものです。調整項目には、減損損失、有形固定資産売却損益、リストラクチャリング費用、災害による損失、訴訟等による多額の賠償又は和解費用等のほか、会社が除外すべきと判断する項目が含まれます。なお、フルベースの実績からコアベースの実績への調整表は、決算補足資料に記載しています。

【売上収益】

- ・ 前立腺がん治療剤XTANDI／イクスタンジ、並びに重点戦略製品の急性骨髄性白血病治療剤ゾスパタ、尿路上皮がん治療剤PADCEV、腎性貧血治療剤エベレンゾは想定どおりに伸長しました。
- ・ 加えて、過活動膀胱（OAB）治療剤ベタニス／ミラベトリック／ベットミガの売上が拡大したほか、COVID-19の感染拡大の影響で主に前年同期に売上が減少した心機能検査補助剤レキスキャンの売上が回復し、当第1四半期における増収要因となりました。
- ・ これによって、消炎・鎮痛剤セレコックスの販促活動終了や高コレステロール血症治療剤リピトールの製造権移管、前立腺がん治療剤エリガードの製品譲渡などによる売上の減少を補いました。

以上の結果、売上収益は、3,261億円（前年同期比6.2%増）となりました。

【コア営業利益／コア四半期利益】

- ・ 売上総利益は、2,639億円（同6.7%増）となりました。売上原価率は、主に製品構成の変化により前年同期に比べ0.4ポイント低下し、19.1%となりました。
- ・ 販売費及び一般管理費は、1,371億円（同13.5%増）となりました。経営計画2021の推進に向けた先行投資（同約30億円増）をはじめ、XTANDIの米国での売上拡大に伴う共同販促費用の増加（同30億円増）、為替の影響（同44億円増）、さらには前年同期においてCOVID-19の感染拡大の影響により販売促進活動費用や旅費が減少していたことも一過性の増加要因（同約60億円増）となり、総額として増加しました。なお、XTANDIの米国での共同販促費用を除いた販売費及び一般管理費は、1,026億円（同15.0%増）となりました。
- ・ 研究開発費は、583億円（同1.8%増）となりました。米国及び欧州における第Ⅲ相試験の患者組み入れが完了した選択的ニューロキニン3受容体拮抗薬fezolinetantの開発費用が減少した一方で、抗Claudin18.2モノクローナル抗体ゾルベツキシマブの開発費用の増加やPrimary Focus（遺伝子治療や細胞医療、がん免疫など）への投資を拡充したことなどにより、総額として増加しました。
- ・ 無形資産償却費は、60億円（同1.8%増）となりました。

以上の結果、コア営業利益は628億円（同0.9%減）、コア四半期利益は492億円（同5.3%減）となりました。

【為替の業績への影響】

当第1四半期の為替レートは、下表のとおりです。これらの結果、前年同期の為替レートを適用した場合と比べ、売上収益においては136億円の増加、コア営業利益においては61億円の増加の影響がありました。

期中平均レート	前第1四半期	当第1四半期	変動
米ドル/円	108	109	2円安
ユーロ/円	118	132	13円安

期首・期末の変動	前第1四半期	当第1四半期
米ドル/円	1円高	0円高
ユーロ/円	2円安	2円安

<連結業績（フルベース）>

当第1四半期の連結業績（フルベース）は下表のとおりです。売上収益は増加した一方、営業利益及び四半期利益は減少しました。

フルベースの業績には、コアベースの業績で除外される「その他の収益」、「その他の費用」等が含まれます。当第1四半期における「その他の収益」は4億円（前年同期：22億円）、「その他の費用」は271億円（同：48億円）になりました。

「その他の費用」として、開発プロジェクトの中止に伴う減損損失（DNAワクチンASP0892：215億円、抗CD40モノクローナル抗体bleseelumab：41億円）を計上したことなどにより、フルベースの業績はコアベースの業績と比較して減益幅が大きくなりました。

[連結業績（フルベース）]

（単位：百万円）

	前第1四半期 (2021年3月期)	当第1四半期 (2022年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	306,969	326,143	+19,175 (+6.2%)
営業利益	60,815	36,090	△24,724 (△40.7%)
税引前四半期利益	60,238	35,830	△24,408 (△40.5%)
四半期利益	50,413	30,687	△19,726 (△39.1%)
基本的1株当たり 四半期利益（円）	27.14	16.56	△10.58 (△39.0%)
四半期包括利益	55,426	36,206	△19,219 (△34.7%)

【主要製品の売上】

(単位：億円)

	前第1四半期 (2021年3月期)	当第1四半期 (2022年3月期)	増減率
XTANDI/イクスタンジ	1,120	1,329	+18.7%
ゾスパタ	56	83	+47.7%
PADCEV	30	42	+41.9%
エベレンゾ	2	6	+282.9%
ベタニス/ミラベトリック /ベットミガ	404	440	+8.8%
プログラフ*	453	452	△0.3%

*プログラフ：アドバグラフ、グラセプター、アスタグラフXLを含む

- ・ XTANDI/イクスタンジについては、販売している全ての地域で売上が拡大しました。欧州において2021年4月に転移性去勢感受性前立腺がん（M1 CSPC）の適応追加が承認されたほか、同年6月には英国NICE（National Institute for Health and Care Excellence）からM1 CSPCの治療薬としての使用が推奨されました。加えて、同年3月に保険償還が開始された中国において、病院での採用が拡大し、物量が想定よりも大きく増加しました。
- ・ ゾスパタについては、グローバルの売上が拡大し、特に米国と欧州においては前年同期と比べて大きく伸長しました。2021年4月に発売となった中国では想定を上回る立ち上がりを示しました。また、欧州では、英国、ドイツ、イタリアに加え、北欧、オランダ、ベルギーでも保険償還が開始されました。
- ・ PADCEVについては、米国での共同販促収入が伸長しました。米国において2021年7月にシスプラチン不適応で治療歴のある局所進行性または転移性尿路上皮がんの適応追加が承認されました。
- ・ エベレンゾについては、日本において主要施設への採用が増加し、売上が拡大しました。
- ・ ベタニス/ミラベトリック/ベットミガについては、2021年3月に保険償還が開始された中国で物量が増加するなど、グローバルでの売上が拡大しました。
- ・ プログラフについては、欧州や中国で伸長した一方で、米国や日本で売上が減少するなど地域ごとに増減の差はあったものの、グローバルの売上は通期予想に沿って推移しました。

【地域別売上収益の状況】

地域別の売上収益は下表のとおりです。米国、エスタブリッシュドマーケット及びグレートチャイナは増加した一方、日本及びインターナショナルマーケットは減少しました。

(単位：億円)

	前第1四半期 (2021年3月期)	当第1四半期 (2022年3月期)	増減率
日本	778	675	△13.2%
米国	1,172	1,336	+14.1%
エスタブリッシュド マーケット*1	640	780	+21.8%
グレートチャイナ*2	142	164	+15.5%
インターナショナル マーケット*3	302	278	△8.1%

*1 エスタブリッシュドマーケット：欧州、カナダ、オーストラリア

*2 グレートチャイナ：中国、香港、台湾

*3 インターナショナルマーケット：ロシア、中南米、中東、アフリカ、東南アジア、南アジア、韓国、輸出売上等

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、資本及び負債の状況

当第1四半期末(2021年6月30日時点)の連結財政状態計算書の概要及び前期末からの主な変動は以下のとおりです。

【資産】

総資産は、2兆2,495億円(前期末比242億円減)となりました。

<非流動資産>当第1四半期末:1兆3,807億円(同203億円減)

- ・有形固定資産は、2,697億円(同51億円増)となりました。
- ・のれんは2,841億円(同1億円増)、無形資産は6,303億円(同211億円減)となりました。DNAワクチンASP0892及び抗CD40モノクローナル抗体bleseelumabの開発中止に伴う減損損失を計上したことなどにより、無形資産が減少しました。

<流動資産>当第1四半期末:8,687億円(同39億円減)

- ・現金及び現金同等物は3,019億円(同242億円減)となりました。

【資本】

資本合計は、1兆3,829億円(同32億円減)となり、親会社所有者帰属持分比率は61.5%となりました。

- ・四半期利益307億円を計上した一方で、剰余金の配当389億円を実施しました。

【負債】

負債合計は、8,666億円(同209億円減)となりました。

<非流動負債>当第1四半期末:2,850億円(同101億円減)

<流動負債>当第1四半期末:5,816億円(同108億円減)

② キャッシュ・フローの状況

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、401億円（前年同期比185億円増）となりました。

- ・ 法人所得税の支払額は103億円（同69億円増）となりました。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

当第1四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは、△211億円（同72億円支出減）となりました。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

当第1四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは、△447億円（同282億円支出減）となりました。

- ・ 配当金の支払額は389億円（同18億円増）となりました。

以上の結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は、3,019億円（前期末比242億円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、連結業績予想について、コアベース及びフルベースでの業績予想を開示しています。
当期（2022年3月期）の通期連結業績予想は下表のとおりです。

コアベースの業績予想は、2021年4月に公表した業績予想を据え置き、修正していません。

一方、フルベースの業績予想は、開発プロジェクトの中止に伴う減損損失（DNAワクチンASP0892：215億円、抗CD40モノクローナル抗体bleseelumab：41億円）を計上したことに加え、同年6月に発表した早期退職優遇制度に伴う割増退職金費用（約100億円）を当第3四半期に計上する見込みであり、これらを踏まえて、営業利益、税引前利益及び当期利益を下方修正しています。

[連結業績（コアベース）]

（単位：百万円）

	期初予想 (2022年3月期)	最新予想 (2022年3月期)	差異	前期実績 (2021年3月期)
売上収益	1,323,000	1,323,000	—	1,249,528
販売費及び一般管理費	541,000	541,000	—	504,316
研究開発費	242,000	242,000	—	224,489
コア営業利益	270,000	270,000	—	251,375
コア当期利益	213,000	213,000	—	209,906
基本的1株当たり コア当期利益（円）	114.95	114.95	—	113.03

[連結業績（フルベース）]

（単位：百万円）

	期初予想 (2022年3月期)	最新予想 (2022年3月期)	差異	前期実績 (2021年3月期)
売上収益	1,323,000	1,323,000	—	1,249,528
営業利益	265,000	227,000	△38,000	136,051
税引前利益	263,000	225,000	△38,000	145,324
当期利益	209,000	183,000	△26,000	120,589
基本的1株当たり 当期利益（円）	112.79	98.76	△14.03	64.93

[通期の想定為替レート]

2022年3月期（想定）：110円／米ドル、130円／ユーロ

2021年3月期（実績）：106円／米ドル、124円／ユーロ

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上収益	306,969	326,143
売上原価	△59,654	△62,231
売上総利益	247,315	263,912
販売費及び一般管理費	△120,776	△137,109
研究開発費	△57,288	△58,313
無形資産償却費	△5,855	△5,963
持分法による投資損益	△26	292
その他の収益	2,245	403
その他の費用	△4,800	△27,133
営業利益	60,815	36,090
金融収益	379	1,457
金融費用	△956	△1,717
税引前四半期利益	60,238	35,830
法人所得税費用	△9,825	△5,144
四半期利益	50,413	30,687
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	50,413	30,687
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	27.14	16.56
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	27.12	16.55

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期利益	50,413	30,687
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	4,572	△2,935
確定給付制度の再測定	273	803
小計	4,845	△2,132
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	168	7,652
小計	168	7,652
その他の包括利益	5,013	5,520
四半期包括利益合計	55,426	36,206
四半期包括利益の帰属 親会社の所有者	55,426	36,206

(3) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	264,623	269,698
のれん	284,011	284,114
無形資産	651,427	630,322
売上債権及びその他の債権	33,924	32,829
持分法で会計処理されている投資	7,117	8,046
繰延税金資産	54,176	54,556
その他の金融資産	95,850	91,524
その他の非流動資産	9,913	9,652
非流動資産合計	1,401,040	1,380,741
流動資産		
棚卸資産	164,080	157,254
売上債権及びその他の債権	343,178	364,233
未収法人所得税	13,984	17,295
その他の金融資産	5,560	4,075
その他の流動資産	19,658	23,938
現金及び現金同等物	326,128	301,920
流動資産合計	872,588	868,715
資産合計	2,273,628	2,249,456

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資本及び負債		
資本		
資本金	103,001	103,001
資本剰余金	177,830	177,657
自己株式	△15,377	△15,663
利益剰余金	953,289	945,961
その他の資本の構成要素	167,373	171,914
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,386,115	1,382,869
資本合計	1,386,115	1,382,869
負債		
非流動負債		
仕入債務及びその他の債務	400	308
繰延税金負債	18,161	8,175
退職給付に係る負債	38,982	38,435
引当金	5,796	7,621
その他の金融負債	199,021	201,362
その他の非流動負債	32,782	29,106
非流動負債合計	295,141	285,007
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	124,777	108,453
未払法人所得税	8,395	14,634
引当金	22,187	19,704
その他の金融負債	148,163	147,493
その他の流動負債	288,851	291,296
流動負債合計	592,372	581,580
負債合計	887,513	866,587
資本及び負債合計	2,273,628	2,249,456

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					新株予約権	在外営業活動体の外貨換算差額
2020年4月1日残高	103,001	177,506	△7,178	905,851	899	93,277
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	50,413	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	168
四半期包括利益合計	—	—	—	50,413	—	168
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	△880	—	—	—
自己株式の処分	—	△444	635	△168	△23	—
配当金	—	—	—	△37,150	—	—
株式報酬取引	—	121	—	—	—	—
振替	—	—	—	△55	—	—
所有者との取引額合計	—	△322	△245	△37,374	△23	—
2020年6月30日残高	103,001	177,183	△7,423	918,890	876	93,445

2021年4月1日残高	103,001	177,830	△15,377	953,289	745	147,024
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	30,687	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	7,652
四半期包括利益合計	—	—	—	30,687	—	7,652
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	△713	—	—	—
自己株式の処分	—	△347	428	△52	△29	—
配当金	—	—	—	△38,914	—	—
株式報酬取引	—	174	—	—	—	—
振替	—	—	—	951	—	—
所有者との取引額合計	—	△173	△285	△38,015	△29	—
2021年6月30日残高	103,001	177,657	△15,663	945,961	717	154,676

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			合計	資本合計
	その他の資本の構成要素		合計		
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定			
2020年4月1日残高	15,813	—	109,989	1,289,168	1,289,168
四半期包括利益					
四半期利益	—	—	—	50,413	50,413
その他の包括利益	4,572	273	5,013	5,013	5,013
四半期包括利益合計	4,572	273	5,013	55,426	55,426
所有者との取引額					
自己株式の取得	—	—	—	△880	△880
自己株式の処分	—	—	△23	0	0
配当金	—	—	—	△37,150	△37,150
株式報酬取引	—	—	—	121	121
振替	328	△273	55	—	—
所有者との取引額合計	328	△273	32	△37,909	△37,909
2020年6月30日残高	20,713	—	115,034	1,306,684	1,306,684

2021年4月1日残高	19,604	—	167,373	1,386,115	1,386,115
四半期包括利益					
四半期利益	—	—	—	30,687	30,687
その他の包括利益	△2,935	803	5,520	5,520	5,520
四半期包括利益合計	△2,935	803	5,520	36,206	36,206
所有者との取引額					
自己株式の取得	—	—	—	△713	△713
自己株式の処分	—	—	△29	0	0
配当金	—	—	—	△38,914	△38,914
株式報酬取引	—	—	—	174	174
振替	△148	△803	△951	—	—
所有者との取引額合計	△148	△803	△979	△39,452	△39,452
2021年6月30日残高	16,521	—	171,914	1,382,869	1,382,869

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	60,238	35,830
減価償却費及び無形資産償却費	17,999	18,144
減損損失(又は戻入れ)	3,295	26,052
金融収益及び金融費用	577	260
棚卸資産の増減額	△3,197	8,256
売上債権及びその他の債権の増減額	△13,226	△19,991
仕入債務及びその他の債務の増減額	△30,222	△13,163
その他	△10,558	△5,055
小計	24,906	50,333
法人所得税の支払額	△3,306	△10,251
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,600	40,083
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,586	△9,352
有形固定資産の売却による収入	8	186
無形資産の取得による支出	△25,676	△10,560
子会社の取得による支出	△1,667	△648
利息及び配当金の受取額	347	135
その他	6,244	△846
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,330	△21,085
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債及び短期借入金の増減額	△110,000	—
長期借入れによる収入	80,000	—
自己株式の取得による支出	△880	△713
親会社の所有者への配当金の支払額	△37,150	△38,914
リース負債の返済による支出	△4,302	△4,469
その他	△644	△634
財務活動によるキャッシュ・フロー	△72,977	△44,730
現金及び現金同等物の為替変動による影響	1,250	1,524
現金及び現金同等物の増減額	△78,457	△24,208
現金及び現金同等物の期首残高	318,391	326,128
現金及び現金同等物の四半期末残高	239,934	301,920

- (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。